

会 議 録

1 会議名

令和5年度第2回柿崎区地域協議会

2 議題(公開・非公開の別)

(1) 報告事項(公開)

- ・上越市保育園の適正配置等に係る計画(第4期)基本方針等について
- ・第2次上越市総合公共交通計画(後期再編計画)の策定について
- ・柿崎区地域協議会各種委員会からの活動報告

(3) その他(公開)

3 開催日時

令和5年5月23日(火)午後6時から午後7時22分まで

4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ3階 305~307 会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者(傍聴人を除く) 氏名(敬称略)

- ・委員:吉井一寛(会長)、白井一夫(副会長)、岩野秀樹、薄波清美、貝谷雅子、片桐充、小出祥世、小山慶、武田正教、中村誠、蓑輪和彦、吉村正
- ・幼児保育課:小山課長、伊倉副課長、徳永係長、安田主任
- ・交通政策課:木南副課長、大熊主任
- ・事務局:柿崎区総合事務所 新部所長、小林次長、石澤次長、五十嵐産業グループ長、田原建設グループ長、小林教育・文化グループ長、熊木地域振興班長、大場主査

8 発言の内容(要旨)

【小林次長】

- ・地域協議会の開会を宣言。
- ・岩野秀樹委員、片桐宏樹委員の欠席を報告。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明。

【吉井会長】

- ・会長挨拶。
- ・会議録署名委員に岩野秀樹委員を指名。
- ・4 報告事項(1)上越市保育園の適正配置等に係る計画（第 4 期）基本方針等について、幼児保育課から報告をお願いする。

【小山課長】

- ・柿崎区地域協議会の皆さんには、平成 26 年度から自主的審議事項として、区内の保育園の将来のあり方について、継続的に審議を重ねていただき、これまで区内 4 園の視察や、柿崎区外の保育園の視察、さらには、保護者の皆さんとの懇談会やアンケート調査を通じた意見聴取、そして、様々な意見がある中、意見集約に取り組みいただき、そのまとめとして、本年 3 月に柿崎区内の保育園の今後のあり方に関する意見書を提出いただいた。
- ・この意見書は、市の考える方向性と合致しているものであり、これまで長期間にわたる議論を進め、取りまとめに多大なるご尽力を賜り、議論をリードしていただいた吉井会長、白井副会長、小山委員長はじめ、柿崎区地域協議会委員の皆様には心から感謝申し上げます。
- ・なお、意見書でお寄せいただいた意見について、保育園の場所の選定に向けては、今後、保護者の皆さんの通勤を考慮し、話し合いながら検討を進めていく。
- ・また、送迎のための通園バスの運行、保育時間の延長は、現状の水準はもとより、病児・病後児保育の実施や保育士の配置の充実と合わせた保育サービスの充実については、どのようにすれば実現が可能か、十分に検討して参りたいと考えている。
- ・一方では、今年度、第 4 期の保育園の適正配置等に係る計画を策定することとしており、柿崎区内の保育園をその計画に登載するべく、保護者の皆さんや地

域の皆さんと話し合いを重ね、準備を進めて参りたいと考えており、本日、説明申し上げます。計画の基本方針等は、市内全体の公立保育園に関するものとして、令和4年度に定めており、これまでの第1期から第3期までの計画による取組の検証及び全ての公立保育園の課題の整理等を行い定めたものである。

- ・本日は、柿崎区内の保育園に関する具体的な案をお示しすることができず、大変申し訳ないが、今後、提出いただいた意見書の内容の実現に向けて、保護者の皆さんと話し合いに入る前に、地域協議会の皆さんに基本方針等を説明したいと考え、本日、その機会を頂戴した。それでは、資料に基づく説明を担当からする。

【徳永係長】

- ・説明資料1、資料1から資料9までにより、上越市保育園の適正配置等に係る計画（第4期）基本方針等について説明。

【吉井会長】

- ・委員の皆さんから質問、意見等があったらお願いします。小山委員長どうか。

【小山委員】

- ・丁寧に説明いただき、どのような進め方をするのかを理解した。配置場所、公立または民間の問題について、これから柿崎区内の保護者の方と来月以降に統合に関する意見交換をするという話があったが、その場にオブザーバー的な形で参加可能か。

【小山課長】

- ・ご都合が合えば、ぜひお聞きいただきたいと思う。

【小山委員】

- ・感謝する。昨今、保育園の不祥事や事故等々のニュースをよく見かけるため、保護者の方々もそこら辺を一番懸念されていると思う。特に民間運営だと経営に目が向きがちになるため、公立で多様化するサービスに対応できるのが一番いいのかなと私は感じているが、柿崎区の方々の声をしっかり反映していただければと思う。

【吉井会長】

- ・他の委員の皆さんから質問、意見等はないか。保育園のプロジェクトに参加した委員の皆さんからどうか。よろしいか。なければ私から2点。

- ・資料3で公立保育園の一覧があるが、公立保育園以外のこのような一覧表があればいただきたい。
- ・もう1点は、先ほど保護者の方々にもう一度、行政の方からアンケートを出すという話があったが、そのアンケート内容を保護者へ出す前に我々に教えていただきたい。

【小山課長】

- ・アンケート内容については、事務局を通して皆様に配布したいと考えている。ただし、アンケートをどの様に実施するかということと内容について検討をしているところであり、事務局を通して会長に相談する機会を設けたいと考えている。
- ・資料3の公立保育園以外の一覧について、入園児童数まではお出しすることはできるが、築年数等については、今現在、手元に資料がないため、その辺はどのような形でお示しできるかについて、持ち帰り検討させていただきたい。

【吉井会長】

- ・幼児保育課が持っている資料で結構である。あらためて今から調査する必要はない。
- ・他の委員の皆さんから質問、意見等はないか。
- ・なければ、これで説明を終了する。
(幼児保育課職員退席)
- ・次に(2)第2次上越市総合公共交通計画（後期再編計画）の策定について、交通政策課から説明をお願いします。

【木南副課長】

- ・資料10により、第2次上越市総合公共交通計画の概要について説明。

【熊木班長】

- ・資料11により、柿崎区の後期再編計画について説明。

【吉井会長】

- ・委員の皆さんから質問、意見等があったらお願いします。地域の交通を考える会の武田委員長どうか。

【武田委員】

- ・資料10の路線バスの利用状況をみると、コロナの影響で令和元年度から令和2

年度にかけて、利用者数が一気に減少している。コロナの影響を考慮せずに数字だけを見て0.8人になったから廃止の方向で検討を進めるというのはおかしいと思う。コロナの影響がなければ、コロナ前の減少率からみると1.0人以上はあると思われる。コロナの影響を見て政策を行ってほしい。

- ・市の方で代替りの交通手段をこうしますから、浜線を廃止しますよという提示がないと、浜線の皆さんが納得しないと思う。

【木南副課長】

- ・全体の話に関わることであり、私から話をさせていただく。確かにコロナ禍以後、利用者が激減し驚きであった。
- ・しかし、1便当たりの利用者数が1人未満の場合は廃止評価とする基準を設けたのは、空バスが走っていると言われていたことを皆さんも聞いたことがあると思うが、乗る人がいるかないかという観点で評価の基準を定めている。
- ・コロナの影響で利用者数が少なくなったということは事実である。廃止評価という判定だとしても直ちに廃止するものではない。その時々状況の違い等があるため、まずは利用促進、改善策の検討等を行い、利用者数を増やしていきたいと思っている。
- ・柿崎区から説明があったように、路線バスの利用促進について、広報に掲載したり、町内会長の皆さんにお話ししたりさせていただいたが、まだ期間があるので、1便当たり1人以上利用していただき、浜線の維持に繋がればいいと思っている。
- ・しかし、浜線に限らず他の路線についても、このまま1便当たりの利用者数が減っていき、1人未満となった場合は、他の手段がいいのではないかという検討も並行しながら進めていきたいと思っている。

【武田委員】

- ・浜線の路線バスは小型にした方が動きやすく効率的ではないか。今年の秋に水野線、黒岩線がなくなれば、その車両が空くため浜線で活用できないか。
- ・合併前上越市方面から柿崎区へ路線バスに乗って行く場合、鶉の浜でバスを降りて、20から30分ほど待ってから、また同じバスに乗っている。改善ができないかと思う。

【木南副課長】

- ・事業者が持っているバスの数、バスのやり繰り、バス路線全体で見た場合の一番多い乗車人数などにより、使用するバスが決まるため、結果として大きいバスが使われることになる。今後、バスの更新もあるため、できるところから、やり繰りをうまくやっていきたいと事業者から話をいただいている。
- ・鶴の浜の乗り換えで、1回降ろされて、また同じバスに乗っているという件については、事業者によく状況を確認したい。

【吉井会長】

- ・武田委員よろしいか。

(はい)

- ・武田委員からも質問が出たが、資料 10 の路線バスの利用状況は、市全体の乗降者数だと思うが、令和元年度までは、146 万 5 千人だったのが、令和 2 年度に 117 万 5 千人ということで、約 30 万人の減で約 2 割減っている。ちょうど令和 2 年からコロナが始まって、前期の 4 年間というのは、全くコロナ禍で 3 年が終わった。令和 5 年だけがコロナが明けてという年になる。令和 4 年度の 1 年だけを見て、それが実績だということで、後期の 4 年間の計画を策定するのは非常に危険だと思う。これは柿崎区だけの問題ではなく、上越市全体の問題であると思うため、その辺を交通政策課だけでなく、学識経験者まで入れて、コロナの影響をどの様に見るかということをしつかりと検討していただき、後期の 4 年の計画を策定していただきたいと思う。これはもう意見だけである。
- ・委員の皆さんは他にないか。よろしいか。
- ・なければこれで説明を終了する。
- ・現在、コミュニティバスの 10 月運行に向け、柿崎まちづくり振興会が頑張っており、応援をお願いしたい。

【木南副課長】

- ・地域協議会の皆さんから、柿崎まちづくり振興会へ、コミュニティバスの運行の検討について依頼をしていただき、柿崎まちづくり振興会から一生懸命検討をしていただいております、大変ありがたいと思っている。

(交通政策課職員退席)

【吉井会長】

- ・それでは、次に(3)柿崎区地域協議会各種委員会からの活動報告ということで、

空き家活かそうプロジェクトの蓑輪委員長から願います。

【蓑輪委員】

- ・資料 12 により、第 28 回柿崎空き家活かそうプロジェクト会議の協議結果を報告。

【吉井会長】

- ・委員の皆さんから質問、意見等があったら願います。

【小山委員】

- ・資料 12 の 3 事前説明の一番下、説明用資料は 28 日までに作成し、30 日までに事前説明をするということか。

【吉井会長】

- ・28 日は 4 月 28 日である。4 月が抜けていたものである。
- ・ほかに質問、意見等があったら願います。
- ・次に小出委員長から明日へつなぐ事業検討委員会の協議結果の報告を願います。

【小出委員】

- ・地域活性化の方向性については、皆さんからの協力をいただき、「柿崎区の米山と日本海にいだかれた魅力のまちという強み（個性・特性）をいかして三大薬師「米山」のブランド力を高め、地域を活性化します。」と、3 月 14 日に決定した。
- ・今後、それをどの様に活性化に活かしていくかを考えるということで、5 月 15 日に新たなメンバーを加え「明日へつなぐ事業検討委員会」を発足した。
- ・この委員会として、この事業にどこまで取り組んで行くかというところから、本音で話し合いを行った。地域活性化の方向性を市へ提出した時点で、地域協議会の使命は終わっているため、一つ一つの事業について、どうするかについてまで、我々が関わる必要があるのか、それが適切なのか、というところも含めて話し合いをした。
- ・結果として、地域活性化の方向性を市へ提出したということで、後は総合事務所に任せる、または公表してあるので、地域の各団体の自主的な活動に任せる、ということもできるが、今の柿崎区の現状を見て、我々が一つ踏み込んで、できることをやっていかなければならないのではないかとということで、話がまと

まった。

- ・改めてそれぞれの構成要素について、提案事業を上げ、実際に事業を実施する団体の皆様と来年度の予算化に向け、話し合っていくこととなった。
- ・具体的には、皆さんからいただいた提案事業について、例えばフォトコンテストの開催やホームページの立ち上げなどであれば、観光協会にお願いするなど、一番やりやすいところはどこかを検討し、話を持っていくこととなった。
- ・幸いなことに各委員は幅広く活動をされており、それぞれの所属団体に一つ一つ具体的な話をしていただき、次回の検討会でそれを持ち寄り、今後について改めて検討するというので、実際に活動を行っているところである。
- ・また、今後の事業の具体化に向け、副委員長も必要であるということで、小山委員にお願いすることとなった。
- ・以上が第1回の検討会の報告である。一つでも来年度の予算や未来の予算に向け提案できるように皆さんと一緒に頑張りたいと思っている。

【吉井会長】

- ・頑張っていたきたい。次回は6月19日の地域協議会后となる。各委員は自分の担当団体へしっかりとあたっていたきたい。
- ・その他に移る。事務局から今後のスケジュールについての説明をお願いする

【熊木班長】

- (1) 第29回柿崎空き家活かそうプロジェクト会議の開催について説明
 - (2) 第2回柿崎区地域協議会だより編集委員会の開催について説明
 - (3) (仮称)かきざき空き家利活用推進協議会設立準説明会の開催について説明
 - (4) 第3回柿崎区地域協議会の開催について説明
 - (5) 第2回明日(あす)へつなぐ事業検討委員会の開催について説明
- ・引き続き配布物について説明。
 - (1) 上越市創造行政研究所ニュースレター「創造行政」No.52、No.53について説明
 - (2) 上越市男女共同参画推進センター講座「ぼくが性別「ゼロ」に戻るときについて説明
 - (3) 上越地区産業廃棄物最終処分場基本構想のあらましについて説明
 - (4) 地域自治の推進に向けた調査へのご協力について(お願い)について説明

【吉井会長】

- ・地域自治の推進に向けた調査については、我々に聞く質問ではない項目があると思う。また、非常に違和感がある項目がある。

【熊木班長】

- ・調査項目は、全市の地域協議会委員に回答を依頼するものであり、柿崎区地域協議会では既に取り組みを行っている活動に対する質問や、地域協議会委員以外にも共通に質問する項目も含まれている等で違和感がある調査項目があるがご了承いただきたい。担当課にはその様な意見があったことを伝える。

【吉井会長】

- ・その他で皆さんから何かないか。

(なし)

- ・それでは閉会とする。

【白井副会長】

- ・地域協議会の閉会を宣言。

(午後 7 時 22 分閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL : 025-536-6701 (直通)

E-mail : kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。